

園長日記 第20回 令和4年度附属認定こども園第2回合同研修会

宮崎学園には、宮崎学園短期大学附属認定こども園が2園あります。両園では、宮崎学園短期大学、宮崎国際大学との連携のもと、今年度より「21世紀型教育・保育」に取り組んでいます。その教育・保育でめざしている事は、保育者主導の教育・保育ではなく、子どもたちの姿から始まる、子どもが主体となる教育・保育です。

子どもたちは、先生方の深い愛情によって受け止められ、先生方に信頼を寄せる事で、様々な五感を使った遊びを体験します。五感を使った種々の遊びを体験することで、自分で考えて選択したり（自己決定）、自分でいいんだ（自己肯定感）、もっともっとやってみよう、（意欲、関心）、お友達と一緒に楽しいなー（共感）等の力を高めています。

第2回の合同研修会では、4月～6月のはるのプロジェクト「自然のいろ」の実践報告、短大・大学の保育アドバイザーによる講話、夏のプロジェクトに向けての分科会が行われました。

研修会では、0歳児から5歳児までの先生方が、それぞれ年齢ごとに3分ずつ、「こどもから始まる」実践を写真や子どもの言葉を中心にまとめられました。先生方が選ばれた写真は、子どもたちの楽しさいっぱいの表情や真剣に取り組む表情、お友達や先生と笑い合う写真等、子どもたちの姿の豊かさと先生方のやさしさと真摯なまなざしが感じられ、発表を聞いていて目頭が熱くなりました。

「21世紀型教育・保育」という新たな取り組みでしたので、先生方も試行錯誤される事があったと思います。そこは62年の本園の歴史が実践を支え、これまでの教育・保育で蓄えた力と新たな模索が素晴らしい方向へと向かっているようです。

園児と先生方の心には、この2か月の豊かな体験がいっぱい詰まっていることと思います。子どもが楽しいと保育者も楽しい。保育者が楽しいと子どもが楽しい。ワクワク、ドキドキの素晴らしい循環を感じます。

7月からは夏のプロジェクトがスタートします。保育者主導ではなく、子どもたちから始まる教育・保育をこれからも追求していきます。

🌞 ともから始まる みどりから始まる 🌱
～生きる根っこを育む保育～



令和4年度 附属認定こども園第2回合同研修会



年齢ごとに、はるのプロジェクトの発表をしました。





年齢ごとの分科会で、なつのプロジェクトについて話し合いました。

